

「まちづくりを考えるタウンミーティング」 基本構想骨子案に対する意見の概要と市の考え方

別紙

期 間：平成25年2月11日～2月20日（全7回）
意見件数：18件

NO.	意見の 対象箇所	基本構想骨子案に対する意見の概要	意見に対する市の考え方	原案 修正
1	まちづくりの基本理念	「みんなが主役のまちづくり」とあるが、主役と脇役があるのではないかと。「誰もが主役になれるまち」の方がよい。	市民一人一人が主体的にまちづくりに参加していただくという観点から「みんなが主役」という表現としました。	なし
2	まちづくりの基本理念	「みんなが主役のまちづくり」の実現に向け、市民の市政に対する関心を高めるように、市長の考えをわかりやすく表明してほしい。	より多くの市民参加の機会を提供し、ホームページや市政だよりなどでも情報発信していきたいと考えています。	なし
3	まちづくりの視点	「つなぐ」視点は馴染みやすく感心した。	—	なし
4	将来都市像	現計画の「ひかりあふれ笑顔が明日をつむぐまち」は都市像と言えるのか。もう少し方向性が感じられるものの方が市民と共有できると思う。	現時点で将来都市像はお示していません。今後決定するに当たっては、市民の皆さんのご意見も参考にしながら、決定したいと考えています。	なし
5	将来都市像 将来フレーム	「新たな総合計画」というが、平成35年の将来都市像、まちの姿がイメージできない。	今後、お示しします。	なし
6	将来フレーム	日本人全体の人口が減少するのに、5年後に9.2万人は厳しい。	土地区画整理事業の実施状況も踏まえ、達成可能な数値と考えています。	なし
7	将来フレーム	人口問題だけが計画を左右するような位置付け。人口は大切だが、人数の問題ではなく中身の問題。つまり、生産年齢人口や年少人口がどのくらいの割合なのか。また、少子化の要因となる雇用の率や所得の多寡等の分析が必要だ。	雇用や所得については、基本的には国の所掌であり、市としてそれらを分析した上で、目標値を設定することは、適当でないと考えています。しかしながら、今回お示しました将来人口フレームは、年齢構成を分析した上で、人口構成の不均衡是正に向け、ファミリー層の流入を図るものとして設定しておりますことから、ご指摘の内容を一部踏まえたものとなっているものと考えます。	なし

NO.	意見の対象箇所	基本構想骨子案に対する意見の概要	意見に対する市の考え方	原案修正
8	土地利用構想	開発が進んでいるところの人は満足しているだろうが、進んでいないところの人は失敗したと思う。バランスの取れた開発が必要。	次期計画期間の平成35年度までに、新たに市街化調整区域を市街化区域に編入することは考えていません。基本的には市街化調整区域は農地や緑を保全する区域と考えています。 なお、市街化調整区域には都市計画税が賦課されていないので、公共下水道などの都市施設の整備は考えていません。	なし
9	土地利用構想	市街化調整区域にも下水道を整備してもらいたい。		なし
10	土地利用構想	イトーヨーカ堂の隣地及び地域交流センター用地の活用を図るべき。	イトーヨーカ堂の隣地は既に民間業者に売却済みとなっています。市としては都市の顔となる場所であることから、それにふさわしい提案をお願いしているところです。 地域交流センター用地については「住民投票を教訓として住民主体の市政を推進する条例」に基づき、整備計画を策定したいと考えています。	なし
11	土地利用構想	成台中地域を地域核に位置付けているが、そこまでの必要はあるのか。四街道駅と物井駅周辺に力を入れて、あとは市民の不満を解消することに注力すべき。	成台中地域は、土地区画整理事業が進められ、居住機能や商業業務機能等の導入が計画されるとともに、広域的な幹線道路である国道51号と市の南北を結節する主要な都市計画道路が接続する交通上良好な立地条件を有しています。また、物井駅周辺地域核との広域交通網を活用した連携により、千代田、みそら、旭ヶ丘などの既存市街地を含めた市域東側の活性化を目指す観点からも、地域核としての位置付けは有効と考えます。	なし
12	全体	まちづくりを考える上で少子高齢化がキーワードだが、少子化と高齢化は別に考えるべき。また、市内には県下唯一の盲学校があり、特別支援学校もある。「多子長寿化のまち」「障害のある人にもやさしいまち」を目指してほしい。	仕事を持っている人の転入を促進し、四街道で子供を産み育てて欲しいと考えています。そのためには魅力が必要で、その魅力こそが、「子育て日本一」だと考えています。また、障害のある人が地域で自立して暮らせるまちづくりも重要だと考えており、今後も、教育や福祉を重視した施策を実施していきたいと考えています。	なし
13	全体	市には人づくりを考えてもらいたい。特に若い人のことを考えてほしい。子供たちがイキイキと学んで市への愛着心を持ってもらえるような人づくりができれば、将来市へ戻ってきてくれるだろう。まちづくりを進めるときには、子育て世代を考える必要がある。	従来のように工業団地の整備などで仕事の場を確保して人口流入を図るのではなく、仕事を持った若い人に四街道市に移り住んでもらいたいと考えています。そのためには市の魅力が必要で、それが「子育て環境」だと思っています。 市では「子育て日本一のまち」を目指し、様々な施策を展開しているところです。引き続き、子育て世代に魅力を感じてもらえるまちづくりを進めていきたいと思います。	なし
14	全体	商業都市、子育て・教育など、四街道市の中核となる考え(どういう都市にしたいか)を聞きたい。基本構想の中で都市のイメージが重要視されていないと感じる。	子育てしやすいまちづくりが中核と考えています。	なし

NO.	意見の対象箇所	基本構想骨子案に対する意見の概要	意見に対する市の考え方	原案修正
15	全体	体裁より、市民が本当に住みたいまちを考えて、市民がどうしたいかを書き込んで、作り上げなければならない。こういうまちにしたいという市民の思いが重要。	ご指摘のとおりと考えます。持続可能なまちをつくるため、市民参加や協働を進めること、そして、まちづくりにおいては高い目標を掲げ、その実現に向かって市民の皆さんとチャレンジしていくことが必要だと考えています。今回のタウンミーティングの真の目的は市民の皆さんと目標の擦りあわせをすることであり、意見をいただくことを重視して実施したところです。	なし
16	全体	現計画と同じような内容である。地域住民が考えたものの積み上げで計画を作るべき。	市民意識調査や市民会議など、様々な手法により市民の声を伺い、計画に反映したいと考えています。	なし
17	全体	計画書の表現が硬いので、もっと平たい表現を使ってもらいたい。	わかりやすい表現に努めるとともに、専門的な用語には説明を記載するなどの工夫をします。	なし
18	全体	先に基本計画を作って、それをもとに基本構想を作って、実施計画を修正しながら進めていくべき。	市の目指すべき方向性や目標を定める基本構想を作成し、それらの実現を図るための方策を基本計画で示すことになることから、基本構想の作成が前提となるものと考えています。	なし